

平成30年度 事業報告概要

1 UTMSに関する調査、研究及び開発

(1) UTMSの発展に資する研究開発

ア 総合デザインシステム関連の検討

(2) UTMSの高度化と要素技術の開発

ア 高度交通管制システム関連の研究開発

(ア) 信号制御高度化の調査研究

(イ) PICS高度化の調査研究及び実証実験

(ウ) 高度化光ビーコン関連の研究開発

(エ) ネットワーク関係実証実験

イ プローブ情報活用関連の研究開発

(ア) プローブ情報を活用した信号制御評価実験

(イ) プローブ情報活用関連の検討

(ウ) 車車間通信データの活用等に関する調査研究

ウ 路車協調システム関連の研究開発

(ア) DSSSに関する地域実証実験

(イ) TSPSの運用改善

(ウ) 自動運転に向けた信号情報提供及び信号制御に関する調査研究

(エ) 実用化・標準化に向けたドキュメントの整備

(オ) 地域における普及への取り組み

(3) UTMSの費用対効果に関する調査研究

(4) 運転免許証ICカードの互換性等に関する調査研究

(5) 緊急通報サービスに関する調査研究

(6) 灯器の視認性向上に関する調査研究

(7) その他

ア 技術サポートの実施

イ 人口知能を活用した交通信号制御に関する研究開発

2 UTMSに関する国内外における標準化の推進

(1) 標準規格委員会によるシステム・機器の標準化に関する提言及び規格の制定

ア システム及び機器の標準化の推進

- (ア) 上位装置関連文書の標準化
- (イ) 端末装置関連文書の標準化
- (ウ) I T S無線路側機関連文書の標準化
- (エ) 信号情報活用運転支援システム検討提案書の標準化

イ 協会活動に関連する共通システムの検討

- (ア) ガイドラインの見直し
- (イ) Uネット（TEN Gシステム）関連
- (ウ) 交通管制用語集

(2) 国際標準化会議等への参画と提案

- ア 国際標準化機構(I S O)の標準化審議への参画と提案
- イ 国際電気標準会議（I T E）への参画と提案

3 UTMSに関する知的所有権の保有及び管理

「一般社団法人UTMS協会知的財産権取扱規程」（以下「規程」という。）第4条2項の規定により、必須の特許権等の有無の確認及び声明書の提出を各社に要請したが、声明書の受理はなかった。

4 UTMSに関連する国内外の機関、団体等との交流及び情報交換

(1) 国内の関係機関及び団体等との交流及び情報交換

ア UTMSセミナー2018の実施状況

平成30年11月8日（木）、国際連合大学 ウ・タント国際会議場
UTMS協会会員、警察庁、大学関係者、国の機関等。参加 305名

イ 関係機関、団体等との交流及び情報交換

(2) 国外の関係機関、団体との交流及び情報交換

ア 第25回I T S世界会議コペンハーゲン2018

平成30年9月17日（月）～9月21日（金）、デンマーク コペンハーゲン
会議参加者数：10,000人超、会議登録者数：2,400人

イ 第97回T R B会議

時期：平成31年1月、アメリカ ワシントンD. C
会議参加者数：13,000人

5 協会の目的達成のために必要な普及等の事業

(1) UTMSに関する展示

(2) 本協会の活動に資する刊行物等の発行及び広報資料配付

ア UTMS機関誌発行（年1回）

イ UTMSニュース発行（年2回）

ウ UTMS協会ホームページ更新（随時）

エ UTMS関係リーフレットの更新・増刷